

北海道室蘭市立白蘭小学校 学校便り

白蘭

令和3年 6月10日 6月号① No5



【学校教育目標】

- ・深く学ぶ子
- ・心豊かな子
- ・健康な子
- ・未来をつくる子

ホームページは、「白蘭小学校」で検索するとすぐ見つかります。

朝の笑顔

毎朝、玄関前で「おはようございます」と、子ども達と挨拶を交わしています。子ども達の登校の様子を見ていると、感動的だったり、ほのぼのとしたりする場面が日々あります。

兄弟で登校してきて玄関から入り、それぞれの靴箱に別れるときに「じゃあね、がんばってね」と声をかける姉。転んで泣いている1年生を慰めながら登校する4年生。落ちていた木の実を大事に手にして、見せてくれた1年生。1年生と手をつないで、笑顔で登校する6年生。立ち止まって丁寧にお辞儀をしながら挨拶してくれる5年生。私のネクタイの柄を見て「かっこいい」と言ってくれた2年生。昨日の出来事を詳しく話してくれる3年生。雨の日に低学年のぬれたカップを優しく拭く6年生など……。

朝は、自分のことで精いっぱい、忙しくて、眠たくて、笑顔になりにくい時間帯ですが、家から一歩外に出た瞬間から、周囲を気遣ったり、声をかけたり、しっかり挨拶できる子どもたちのたくましさ、やさしさ、笑顔、すばらしいですね。子ども達からたくさんエネルギーをもらっている気がします。明日はどんな笑顔が待っているのでしょうか。明日もまた、笑顔でお子さんを送り出してください



子どもを守る会

先日、「白鳥台連合地区子どもを守る安全推進協議会事務局会議」に出席させていただきました。本会の皆様並びに地域の皆様方には、登校時や下校時の交通安全、不審者等の見守りなど、雨の日も風の日も子ども達の安全を守るためにご尽力いただきありがとうございます。会議では主に定期総会の確認と近況等の情報交換がありました。総会は今年度も書面表決となりますが、会長の田村博文連合会長さんからは、「コロナで大変な状況にあっても、子どもの安全を守る取り組みは、何よりもしっかりと継続していく」と力強いお言葉をいただきました。今後ともよろしく願いいたします。

全国学力学習状況調査6年生



2年ぶりの調査となった全国学力学習状況調査が先日行われ、6年生が国語、算数の問題に挑戦しました。いつも学校で行っている単元テストと違って、5年生までの学習内容全般からの出題で、日常生活に関連した応用問題や記述問題などがあり、子ども達は苦戦を強いられたようです。

「めちゃくちゃ疲れた」

「算数は自信あるけど国語はちょっと……」
など終了後の感想を話してくれました。

正式な採点は業者が行いますが、先に本校職員が自校採点を行いました。子ども達の理解が不十分な点や課題を早く明らかにし指導に役立てるためです。文部科学省による本校6年生全体の採点結果は、届き次第6年生保護者にお伝えします。



1年生を迎える会

昨年は実施できなかった「1年生を迎える会」、今年は感染対策を施しながら体育館で行われました。4月に任命された児童会三役の初仕事でしたが、とてもスムーズに会を進行し、立派な姿を見せてくれました。

すっかり小学生らしくなった1年生は、2年生から6年生のたくさんの拍手の渦の中、笑顔で入場しました。1年生は、司会の6年生に一人一人名前を呼ばれて、元気よく返事ができました。三役が準備した〇×クイズをみんなで楽しみました。

運動会が延期になり、少し張り合いをなくした子ども達ですが、この会で全校のみんなと交流しながら、気持ちを切り替え、新たな目標に向かってがんばってほしいと思います。



よい歯の表彰

毎年、学校で行われる歯科検診の結果、むし歯がない、磨き方がきれいなど歯科医が「よい歯」と決めた6年生に贈られる名誉ある賞です。

7名が表彰されました。おめでとうございます。これからも健康維持にもつながる歯を大切にしてください。



おめでとう！

10年後の仕事

「2030年には、今の子ども達の65%が、まだ存在していない職業に就くだろう」

2015年の時点の予想で、アメリカのキャシー・Nダビッドソンの言葉です。

セルフレジはかなり身近になりました。自動運転バスも実用化が始まっています。「バスの運転手になりたい」は、過去のものになりそうです。

ゲームリーマー（ゲーム実行者）、プログラマー（プロeスポーツ選手）、ユーチューバー（動画クリエイター）、ドローン操縦士、人工知能（AI）ビジネス開発マネージャー……といった聞き慣れない職業は、10年前には存在していません。想像もできなかった職業ばかりです。この急速な社会の変化が加速すると10年後の2030年も新たな職業が次々と生まれているだろうと想像できます。仕事の形態もコロナでより現実的となったテレワークなど大きく変化しているかもしれません。

今年6年生になった子どもたちは、10年後は22歳。就活の最中か、就職先が決まる頃です。その時代に求められる力とはどのようなものなのでしょうか。

AIには成しえない、人にしかできないこと、今後ますます変化の激しい時代の主役となる子ども達に必要な能力は「21世紀型スキル」と呼ばれています。それはどの職業にも生かせるような高い次元の一般的能力です。例えば、「批判的思考力」「創造性」「コミュニケーション」「情報リテラシー」といったものです。

このような能力の基盤をつくる重要な時期が学校教育です。今私たち教師、大人は、子ども達にこれら能力の基盤となる力が育つような働きかけや経験をさせ、自己の能力を時代に合わせて発揮できるような力、先が見えにくい世の中にあっても、様々な変化に対応できる力を子ども達に身につけさせることが重要です。本校の目指す4つの資質能力はその基盤と考え、取組を今後も続けます。